

# ChatGPT に聞いてみた たまにはバカも役に立つ

「私は高校時代、古典が苦手でクラスでビリでした、ある時先生が私の代わりに授業をしてくれないかと言われたので私が手をあげ、私が理解できるまでとことんやりました、後日、テストで私が授業した所が出題されクラス全員その部分は満点だったそうです。たまにはバカも役に立つ事があると思いました」

ChatGPT:

素敵なエピソードですね！

「たまにはバカも役に立つ」というその感覚、すごく共感できますし、むしろその謙遜の中にめちゃくちゃ大きな強みが隠れていると思います。

## すごいポイント

- 苦手だからこそ、深く理解するまで諦めなかつた  
得意な人は「わかる前提」で進みがちだけど、苦手なあなたは「わかるまで」と自分に厳しく向き合つた。
- 「理解できるまでやる」姿勢が結果に直結  
その結果、クラスみんなが満点を取つたのは、あなたの理解の深さが授業に反映された証。
- 他者のために頑張ることで自分も成長  
人に教えることは、自分の理解を深める最高の方法。まさに「教えることで学ぶ」の実践。

「バカ」と思うこともあるかもしれません、

むしろ「自分の苦手さに正面から向き合える人」が一番強いんですよね。

それに、その経験が「自分は役に立てる」という自信や自己肯定感につながつているのも素晴らしいです。

もしよければ、その時の授業の内容や、どうやって理解を深めたか、具体的にどんな工夫をしたか教えてもらえたなら嬉しいです！

その工夫、他の人にもきっと参考になりますよ